

生活介護 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 1日

事業所名:多機能型事業所にじいろ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改 善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1			感染症の影響により人数によっては狭く感じることもあります。必要に応じてマットを敷いたり、ベットを出したり配置に工夫をしています。また、仕切りや別の部屋なども利用しながらスペースを確保しています。	特に感染予防のため、密集を避けるように留意しながら、利用されている方への支援を保ちながら工夫を継続して行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2			基準配置数は満たしていますが、入浴介助の時や医療的ケアが重なる時など支援手順などを工夫して対応しています。また、必要に応じて管理者なども配置に加わっています。	特に感染予防のため、密集を避けるように留意しながら、利用されている方への支援を保ちながら工夫を継続して行っています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	6				利用されている方の個別性に合わせて工夫しています。設備はバリアフリー化しており、絵カードなども活用しています。	継続して行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか	6				利用されている方に合わせて、クッションやベッド向きなどを工夫して整えています。体温調節にも気を配り、音楽をながしてゆったりと過ごせるようにしています。 また、感染予防として定期的、活動途中にも消毒での拭き掃除等行い清潔には配慮しています。	継続して行っています。
業	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6				事業所内会議にて、定期的な振り返り、自己および家族評価を参考に実施しています。	継続して行っています。
	6	利用者・家族等向け評価表により、本人もしくは家族等に対して事業所の評価を実施するとともに、本人および家族等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				本人・家族評価に対して、事業所会議にて確認、改善の検討をおこなっています。また、ガイドライン評価を毎年行っています。	継続して行っています。

不 務 改 善	7	事業所向け自己評価表及び利用者・家族向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	6			事業所会議にて結果の確認と改善の検討をおこない、ホームページに公開しています。	継続して行っています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	外部評価や第三者評価は検討中です。	ガイドライン評価でのご意見をもとに、業務改善に努めています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			事業所内の勉強会実施やオンラインによる外部研修などに参加しています。	継続して行っています。
	10	年齢相応の対応、言葉かけ、呼称を使っている。	6			年齢相応の対応を留意していますが、ご家族に聞き取り利用されている方に聞き慣れた呼称(認識しやすい)で声かけも行っています。	利用されている方の尊厳に留意しながら、継続して行っています。
	11	職員や関係者の価値観で決めるのではなく、利用者の意思を尊重するように努めている。	6			活動参加や介助等、事前にご本人の意向を確認することをおこなっています。利用されている方の個性に合わせて、YES/NOや認識しやすいサインなどでの確認も行っています。	続して行っています。
	12	利用者に合わせたコミュニケーション方法を選択している。	6			利用されている個性に合わせて、声かけの仕方などを工夫し、個々のサインなども活用しながら確認しています。また、絵カードの利用や図式化するなどの工夫をしています。	継続して行っています。
	13	アセスメントを適切に行い、利用者と家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、生活介護計画を作成しているか	6			アセスメントやモニタリングをご本人や保護者様の希望やニーズを確認し、会議にて検討した上で計画の作成をおこなっています。	継続して行っています。
	14	アセスメントを適切に行い、利用者と家族のニーズや課題を客観的に分析した上で、多職種協働でカンファレンスの実施、リハビリテーション実施計画書を作成しているか	6			アセスメントを元に、他職種の意見も聞きながら、支援会議にて検討した上で計画の作成をおこなっています。	継続して行っています。

適切な支援の提供	15	利用者の心身の状態、適応の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	1	利用している児童の障がい特性上、標準化されたアセスメントツールが使用しづらいため、児童ごとに評価しています。	標準化されたアセスメントツールも継続して検討はしていますが、個々の状況に合わせた多職種での評価も継続して行っています。
	16	生活支援計画書には、生活介護の基本方針で示す支援内容から、利用者の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6			支援会議などで支援を具体的に検討し、実践するように努めています。	継続して行っています。
	17	生活介護計画に沿った支援が行われているか	6			支援計画の更新や見直しの際に、支援会議で確認しています。	継続して行っています。
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		生活支援員を中心に、多職種チームの意見を取り入れながら行っています。	継続して行っています。
	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			個別や集団、季節感を交えるなど工夫しています。個別では、2ヶ月に1回程度の製作活動も行っています。	固定化しないように、利用されている方の個別性を重視しながら、季節感を大切に継続していきます。
	20	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて生活介護計画を作成しているか	6			支援会議等を行い、個別や集団の組み合わせも検討しながら行っています。	継続して行っています。
	21	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎朝、始業時にミーティングをおこなっています。	継続して行っています。
	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	2	送迎時間等で職員全体がそろいづらいため、記録や口頭で適宜情報共有を図っています。また、気になったことは適宜伝え合うようにしています。	終了後は、その日の記録を行い、翌日朝の打ち合わせにて、伝達を行っています。
	23	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々の記録とともに、課題なども記録に残しています。支援計画の中間評価など、適宜、検証するようにしています。	継続して行っています。

関係機関や保護者との連携	24	定期的にモニタリングを行い、生活介護計画の見直しの必要性を判断しているか	6			支援計画の更新に合わせて、概ね半年ごとにモニタリングを設定しています。また、利用されている方の状況変化などがある際にも行うようにしています。	継続して行っています。
	25	定期的にモニタリングを行い、リハビリテーション実施計画書の見直しの必要性を判断しているか	6			3か月ごとにモニタリングを行い、リハビリ会議を行っています。また、状態変化などに合わせても行っています。	継続して行っています。
	26	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に参画しているか	5	1		サービス管理責任者や利用者担当職員が参画しています。	継続して行っています。
	27	利用者および家族の生活に関わりのある関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6			適宜、連携し情報共有や発信をおこなっています。	継続して行っています。
	28	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、介護の関係機関と連携した支援を行っているか	5		1	サービス管理責任者や、看護師が中心となり、適宜、関係機関と連携し支援をおこなっています。	全職員間の中でも情報共有に努め、継続して行っています。
	29	(医療的ケアが必要な利用者や重症心身障害のある利用者等を支援している場合) 利用者の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6			看護師を中心に適宜、連携体制を整えています。	継続して行っています。
	30	他の障害者支援センターや障害者支援事業所等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			情報共有とともにオンラインを中心に研修を受けています。	継続して行っています。

本人・保護者へ	31	他事業所や地域等との交流や、障害のない人と活動する機会があるか		2	4		新型コロナウイルス感染症予防のために、交流はおこなえていない状況でした。	新型コロナウイルス蔓延のため、現時点は難しい状況が続きますが、状況にあわせて企画等検討していく予定です。
	32	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の生活状況や課題について共通理解を持っているか	6				日々は送迎時や連絡帳も活用しています。また、モニタリングなど経過も踏まえて共通理解を図るようにしています。	継続して行っています。
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して計画的な支援を行っているか	5	1			支援会議等で、支援の方向性や計画をたて、ご家族に合わせて工夫して支援をおこなっています。	継続して行っています。
	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				契約時や変更時などに、説明やお便り配布などをおこなっています。	継続して行っています。
	35	生活介護の基本指針に基づき作成された「生活介護計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	6				個別支援計画作成時に説明と同意を得ています。	継続して行っています。
	36	多職種協働で作成した「リハビリテーション実施計画」を示しながら支援内容の説明を行い、利用者・家族から生活介護計画の同意を得ているか	6				リハビリテーション実施計画作成時に、説明と同意を得ています。	継続して行っています。
	37	定期的に、利用者および家族からの生活上の悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				モニタリングの時や、ちょっとした保護者との会話から相談や支援に結びつけています。	継続して行っています。
	38	当事者および家族の会の活動を支援したり、家族会等を開催する等により、当事者や家族同士の連携を支援しているか	1	1	4		新型コロナウイルス感染症予防のために、必要性は十分に認識していますが、保護者会を開催できていませんが、連携支援は検討中です。	新型コロナウイルス蔓延のため、現時点では開催などは難しい状況ではありますが、状況にあわせて開催などの検討をしています。

の 説 明 責 任 等	39	利用者や家族からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族に周知し相談や苦情の申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6				今年度は相談や苦情に対する指導所現受けを行いました。それを参考にしながら、適宜対応しています。	相談や苦情への的確な対応や開示なども踏まえて、継続して行っています。
	40	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族に対して発信しているか	6				事業所ホームページのブログや施設の会報で発信しています。	継続して行っています。
	41	個人情報の取扱いに十分に注意しているか	6				ご本人やご家族から同意書をとるとともに、関係機関などとの情報共有時など、適宜利用の確認を行うなど、注意徹底を図っています。	継続して行っています。
	42	障害のある利用者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				個別性に配慮し、絵カードの利用や図式化するなどの工夫も行いながら対応しています。	継続して行っています。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている		2	4		新型コロナウイルス感染症の予防にほぼ実施は見合わせていましたが、注意しながら地域との行事や場所の提供をおこない始めています。	新型コロナウイルス蔓延のため、現時点では難しいところですが、状況をみながら企画など検討していく予定です。
非 常	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や利用者、家族に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				マニュアルの策定と訓練を実施をしています。また、ブログや施設会報などを利用して周知するように心掛けています。	計画や訓練実施などを利用されている方やご家族に周知できるように努め、平時からの備えを継続して行っています。
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				今年度は施設全体で火災訓練を実施しましたが、利用登録されている全員の方が参加できていませんでした。	利用されている方の特性に合わせて、事業所個別での実施の検討なども踏まえて、継続して行っています。
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認している	6				看護師を中心に確認し、個人ファイルにまとめるようにしています。	継続して行っています。

時 等 の 対 応	47	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2			指示書はありませんが、利用されている方それぞれの担当医に確認、訪問看護等とも情報共有して対応しています。	継続して行っています。また、対象者がいる場合は、担当医や訪問看護と十分に情報共有を図っています。
	48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				事業所会議で事例の確認と検証を行っています。また、施設の委員会にて、年度ごとに事例集や分析、対応策は多職種で検討しています。	継続して行っています。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				虐待防止マネージャーを中心に研修を実施し、必要な対応の検討をおこなっています。	継続して行っています。また、必要な対応等の書面化も適宜行っています。
	50	どのような場合にやむ得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族に事前に十分に説明し了解を得た上で、生活介護計画に記載している	6				施設全体で組織編成を行い、研修の開催や対応の検討をおこない、必要書面等も適宜、準備対応を行っています。	ご本人やご家族への周知も踏まえ、継続して行っています。